

がんばる山田くじら山3く

女性の身だしなみ応援します

旧山田病院で開業している尾半ストアに入ってすぐ左側に可憐なゆるゆるヘア元おしゃれ尾半さんが、5月24日からお店を再開しています。女性の身だしなみに必要な化粧品（資生堂）や、ワコールの下着バックや衣料品、小物など女性用雑貨全般を扱っているそうです。一個からでも注文を受け付けてくれるそうです。今一番売れているのは、帽子エプロン、ネックカーフなど店長の齋藤さんは言っています。営業時間は午前10時から午後4時30分まで、日曜日は定休日なそうです。女性のみなさん、一度お出かけしてみたいかがでしょうか。

6月10日から12日に実施された栗石町での2泊3日の一時滞在に参加された方から感想が寄せられたのでご紹介いたします。

楽しかった温泉旅行

避難所で生活を送っている人を対象にした温泉旅行の募集があり、青少年の家から14人が参加しました。朝8時30分に出発し、12時頃宿泊温泉に到着しました。温泉の皆さんには大歓迎され、本当に良かったです。春の匂いに誘われてさえずるのは鶯、さらさらと流れる鶯宿川、川のほとりの足場に煙たつ温泉のにおい、そして、夕食の大盛り振る舞い



お待ちしております！

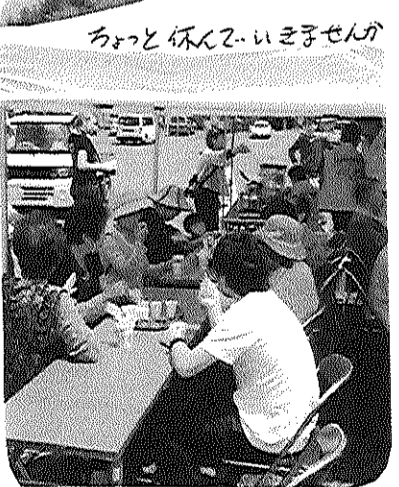


温泉はいいね

は私たちにあって大変な喜びでした。また山田のいろいろな避難所の方々と一緒に盛り上がるのあまり、長話もでき懐かしいひとときを過ごしました。楽しいひとときを過ごしました。2泊3日の温泉旅行でした。本当にありがとうございました。もう少したくさんの方々が行けたら、もっと良かったと思います。

よこあいちっくに参るよっておでんせ

山田町社会福祉協議会が中心になって、毎週水曜日ヨコアいちっくという仮設サロンを開催しています。誰でも気軽に寄っていただけるお茶会です。場所は午前10時から町民グラウンドの仮設住宅の横で開催しています。ヨコアいちっくは、訪れて下さる被災者の皆さんに、お茶やせんごいを振る舞い、ゆっくり談話ができるようにしています。現在、山田町ボランティアセンターが津波で漂流した写真を回収したものを公開しています。公開している写真は、三重県の有志のかたが、一枚



ちよと休んでいそ子せんが

返って来た太鼓
6月18日、吉里吉里の方が、青少年の家に大きな太鼓を持ってこられました。お話を伺って見ますと、津波の後10日ぐらいいしてから吉里吉里の浜に太鼓が流れ着いているのを見つけ、今まで保管していたとのことでした。太鼓に船越の文字が刻まれていたので、さうそう落ち着いた頃だと思って、船越の避難所を持って来たとのことでした。刻まれた文字を調べて見ると、享保の時代に船越の海蔵寺に寄贈

一枚でいいいに洗浄してくださったものです。今後、仮設住宅に多くの方が移った後には、それぞれの仮設住宅の談話室を使って、このサロンを拡大していきたいそうです。そこでは、お茶会だけでなく、子育てに悩むお母さんたちが集まれるようなママカフェなどのイベントなども開催していきたいそうです。今後のサロンの活動に、ご注目ください。



津波で流されても

もとの持主に返された太鼓

されたものであることが分かりました。そしてなんと、その寄贈者の子孫の方が青少年の家に避難していました。太鼓は無事、元の持主の海蔵寺さんに返されました。

バーベキュー大会やりました
仮設住宅への入居が本格的に始まる前の6月20日、青少年の家ではバーベキュー大会を行ないました。歌や踊りも出て、本当に楽しいバーベキュー大会でした。



みんなを楽しました

お知らせ

関口神社のお祭りがあります。
7月2日(土) 宵宮祭
7月3日(日) 例大祭
今年はお例大祭にあわせて、復興祈願祭をするそうです。また、2日の夕方4時半から8時40分まで八幡宮から関口神社の間でシャトルバスが運行されるそうです。

避難所山柳

さあ行くこう 一人一人が 一歩ずつ 坂野

